



今回は、沖の原の海藤 啓さんと結婚した、新庄市出身の萌(旧姓：長沼)さんです。皆さんよろしくお願いします。

♥どんなきっかけで知り合いましたか？

羽陽短大で出会い、友だち伝いで話し始め、飲み会に誘ってくれるようになったのがきっかけです。見た目は怖いのに、とても優しいところに惹かれていきました。

♥嫁いできて、舟形町での生活はどうですか？

子どもの健診がきっかけで、知り合いのママができて、とてもうれしいです。若鮎まつりや人間ばん馬などイベントがたくさんあり、楽しく過ごさせてもらっています。

旦那はもちろん、お義父さんとお義母さん、お義姉さんもとても優しく、子どもと遊んでくれ、毎日本当に感謝でいっぱいです。

♥舟形町の良いところ・悪いところはありますか？

町内にコンビニがあり、とても良いです。スーパーがあると買い物しやすいかなと思います。

♥舟形町に望むことはありますか？

ふれあい広場やチャイルドランドなど、外で思いきり遊べる場所があっても良いですが、屋内の広い施設があると、もっと良いなと思います。

声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

私は、長沢地区で米とアスパラガスを作っている農家です。

平成30年産から経営安定対策の主食用米への助成金がなくなり、今後の米価水準が不透明な状況の中、水稻農家の経営がますます厳しくなっていくことが懸念されています。それに伴い、水稻農家の廃業と農業従事者の高齢化による離農、担い手不足などで、今後耕作放棄地、遊休農地の増加が予想されます。

舟形町では、ニラ、アスパラガス、ねぎ、きゅうりなどの園芸作物、及び冬期間の促成作物である山菜(ウルイ、タラの芽、コゴミ、ふきのとう、行者にんにく)との複合経営や経営の転換に支援をしています。この支援を利用してもらい、耕作放棄地、遊休農地を増加させることなく、自立する農家が増えることを期待します。農家として自立できれば、後を継ぐ方、新たに就農する方が増え、農地を守れるはず。議会の皆様にも協力していただき、舟形町が未来ある農村になることを期待します。



農業委員
叶内 公直 さん
(長沢第2)

(議会より)
舟形町農業発展のため引き続き、農業委員会、議会が協力して頑張っていきたいと思います。

編集後記

北朝鮮は、8月29日と9月15日に弾道ミサイルを東北東方向に発射しました。「Jアラート」の警報を初めて耳にし、多くの皆さんも恐怖を感じたと思います。今後、鳴らないことを祈るばかりです。

今年全国的に天候不順で災害の激甚化が多く、予期しない所が被害に遭われており、地球温暖化の影響も考えられます。9月9日、10日に開催された若鮎まつりは町内外、県外から21000人の来場者があり、これからの観光客増加に期待しています。

議会では、議会改革特別委員会を立ち上げ、目指すべき議会像についての検討を全議員で進めています。町民の皆さんから多くのご意見をお寄せいただき、議会改革や紙面作りに役立ててまいりたいと思います。(伊藤 欽一 記)

発行責任者

議長 八 欽 太
議会広報常任委員会
委員長 佐 藤 勇
副委員長 伊 藤 欽 一
委員 奥 山 謙 三
委員 石 山 和 春
委員 小 国 浩 文